

魂のいとなみを支える

音楽療法と芸術のちから

～支援を必要とする子どもたち～

現代社会が抱える問題は数多くありますが、特に多くの人に見られるのは心の問題です。人間関係、親と子の問題、自分自身を肯定できない等々。音楽療法の現場では様々な問題を抱えた人が訪れます。病名がなくてもストレスによって病が引き起こされることも多くみられます。今回は3回に亘って心のいとなみを支える音楽療法における音楽体験や芸術体験を通して皆様とともに考えていきたいと思えます。関心をお持ちの方の参加をお待ちしています。

(オーディオパーデ主宰 竹田喜代子)

新型コロナウイルス感染予防のため、予防策をとったうえでの実施となりますのでご協力いただけますようよろしくお願いいたします。

2021年 2月7日(日) 10:00~17:00

会場：ひらつか市民活動センター

第3回 「支援の実践から」 -幼児期の子どもの発達と障がい-

幼児期の子どもは、身の回りにあるすべての環境から影響を受けてからだを作り成長します。今回の講座では、「幼児期の子どもの発達」はどのように進んでいくのかについて取り上げ、「障がい」との関係について考えたいと思えます。そして子どもの成長にとって大切な「あそび」はどのような役割を果たすのかについて、わらべうたや感覚をキーワードにしながら学びます。

(山下直樹 記)

10:00~11:30 【講義】「幼児期の子どもの発達と障がい」

講師：山下直樹 (名古屋短期大学教授)

13:00~14:30 【子どものあそびとわらべうた】

講師：山下直樹 (名古屋短期大学教授)

14:45~16:15 【水彩の体験】

講師：山口恵 (そらいろの会代表)

16:15~16:45 【振り返りと響きの体験】

持ち物

平筆 (2~3センチ程目安)・水入れ (筆洗い)・雑巾・絵皿3枚 (プリンカップや小さいジャム瓶など)・紙と絵具代 200円
*お持ちでない物品はお貸しします。

参加費

各回 8,000円

定員

25名 (10名に満たない場合は中止とします)

申込締切

1月29日(金)

(準備のため早めの申し込みをお願いいたします)

主催：一般社団法人オーディオパーデ「シュタイナー音楽療法研究会」・そらいろの会
後援：日本アントロポゾフィー医療の会